

2021年12月24日

各 位

会社名 株式会社 マツモト
代表者名 代表取締役社長 松本 敬三郎
(コード：7901、東証JASDAQ)
問合せ先 取締役総務部長 梅津 武
(TEL・093-371-0298)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日、スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、株主数ならびに流通株式数および流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は、株主数ならびに流通株式数については、2024年4月期を目途に、流通株式時価総額については、2026年4月期を目途にそれぞれ上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	342人	1,967単位	4.98億円	51.6%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に 記載の項目	○	○	○	—

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

〔基本方針〕

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するために、必要な資本政策を適時実施し強固な財務基盤の確立と株主利益の追求をはかり、投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた会社として存続していく方針です。そのため、スタンダード市場の上場維持基準へ適合することは経営の重要な課題であると認識しております。

〔課題及び取組内容〕

(1) 「株主数」ならびに「流通株式数」

基準日時点での状況は、以下のとおりです。

- ・株式数：342人 適合率：85.5% 適合まであと58人
- ・流通株式数：1,967単位 適合率：98.4% 適合まであと33単位

株主数を増加させる取組としては、第1ステップとして大株主上位10名中の一部の株主が保有する株式を市場の状況に配慮しつつ売出しすることにより、株主数を増加させ、基準への適合をはかってまいります。この第1ステップは、2023年4月期を目途としております。また、この第1ステップで適合できなかった場合には、第2ステップとして他の大株主や金融機関・事業法人等に対して保有目的等を考慮しつつ保有株式の全てもしくは一部の売却について協力を要請することや市場環境を考慮した上で自己株式の売却も検討してまいります。この第2ステップは、2024年4月期を目途としております。

この株主数の増加が計画どおり進んでいけば、流通株式数もこれに合わせて、増加することとなり未適合部分のあと33単位（1.6%）は、上記第2ステップの2024年4月期には達成できると見込まれます。

(2) 流通株式時価総額

流通時価総額の構成要素は、「時価総額」及び「流通株式比率」ですが、このうち「流通株式比率」につきましては、当社は51.6%とすでに上場維持基準に適合しております。

「時価総額」につきましては、業績の向上ならびに企業価値の向上が基準への適合に向けた課題であり、これらを着実に進めることで基準の達成を目指してまいります。当社は2021年4月期において新型コロナウイルス感染拡大の影響による学校卒業アルバムの納期遅延や商業印刷物の需要減退により、業績低下となりましたが、下表のとおり業績回復の見込であります。

(単位百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2022年4月期(予想)	2,680	40	60	130
2021年4月期	2,270	△365	△344	△389

さらに、適合の目途としております2026年4月期に向けて、2023年4月期および2024年4月期を第1ステージとして、情報メディアのデジタル化の流れに呼応してビジネスのデジタルシフトをはかりウェブ企業との協業もふまえて、ウェブコンテンツと印刷物の連携による新しいビジネスを構築してまいります。これは、販売先として従来の学校アルバムや一般商業印刷の限られた顧客だけでなく幅広く一般消費者も取り込んでいくものであります。

次の2025年4月期と2026年4月期の第2ステージにおいては、上記の取り組みをさらに発展、深化させ新市場の創出により新しいビジネスモデルの確立を目指し、全売上高の10%程度を占める新しいセグメントの創出を目標としてまいります。

一方で、従来の学校アルバムおよび一般商業印刷は卓越した生産設備等により競争力を維持・強化し、業績の下支えをいたしまして、上記の新セグメントとあわせ、業績ならびに企業価値の向上をはかり、2026年4月期を目途として基準への適合に取り組んでまいります。

また、IR活動につきましても、2023年4月期から決算だけでなく当社の取り組みなどを個人投資家等に知っていただく機会をウェブサイトの活用等を通じて進め、裾野の拡大をはかってまいります。